

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	作品研究	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	2 年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間	木曜7時限～	授業形態	講義
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	伊藤 恒平		実務経験の有無・職種	有・デザイナー	
学習目的					
この科目を受講する学生は、様々なプロダクトデザイナーの作品を考察し、プロダクトデザインに関する知識を学びます。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ知識と考え方を学び、向上することになる。プロダクトデザイナーの制作工程、実例として、スケッチや図面を紹介し「商品開発」に関連する知識を理解し、把握できるようになる。プロの仕事を企画から実施に至るまでの一連の行程、手法、計画をまとめる力を身に付けことができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、様々なプロダクトデザイナーの実際の仕事のスケッチ、写真、図面を理解します。各分野のデザイン、提案、企画を理解し、ワークショップを実施して、その成果をまとめてプレゼンテーションができるようになります。社会で活動するために必要な知識と理解を具体的に修得すること、広くデザインの業界の仕事を理解することができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、講師から、各分野代表する3人のプロダクトデザイナーを例にあげて、その解説を受けます、内容によって、スケッチ、写真、図面を考察し、理解を深めます。授業中の学生間・教員と学生のコミュニケーションから学びを深め、「プロダクトデザインの業界の知識」を育成していきます。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「情報収集能力」が向上できることを目指す。				
注意点	この授業では、中級の段階の学生にプロダクトデザイナーの仕事から、具体的に実施された作品の資料に触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動き、情報を収集し、広くプロダクトデザイナーの今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・レポート	60%	レポート・試験・課題を総合的に評価する		
	ワーク・小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	デザイナー紹介解説		スケッチ、写真、図面作品などデザインの紹介		
2 回	制作の工程		スケッチ模写し、図面トレース		
3 回	実例の見せ方		スケッチ模写し、図面トレース		
4 回	ワーク作業		ワークショップ①		
5 回	デザイナー紹介解説		スケッチ、写真、図面作品などデザインの紹介		
6 回	制作の工程		スケッチ模写し、図面トレース		
7 回	実例の見せ方		スケッチ模写し、図面トレース		
8 回	ワーク作業		ワークショップ②		
9 回	デザイナー紹介解説		スケッチ、写真、図面作品などデザインの紹介		
1 0 回	制作の工程		スケッチ模写し、図面トレース		
1 1 回	実例の見せ方		スケッチ模写し、図面トレース		
1 2 回	ワーク作業		ワークショップ③		
1 3 回	欧州デザイナー紹介解説		スケッチ、写真、図面などデザインの紹介		
1 4 回	北米デザイナー紹介解説		スケッチ、写真、図面などデザインの紹介		
1 5 回	アジアデザイナー紹介解説		スケッチ、写真、図面などデザインの紹介		